

平成22年第7回飯館村議会定例会一般質問通告書

平成22年11月26日・午後3時45分・受付 No.1

議席	通告者氏名	質問事項	内容	答弁者	答弁内容
1番	松下義喜				
		1. 農業振興対策について			
1-1		米価の下落と異常気象による花卉、野菜、園芸農家等の所得向上対策について伺う。		村長	
1-2		来年度の農業振興の対策について伺う。		村長	
		2. 産業振興策について			
2-1		夏まつりについて 牛肉フェスティバルとして再出発する考えはないか伺う。		村長	
2-2		特産品の開発について 試作品の中から何品目が商品化の目途がついているのか。また、販売先をどこにしているのか計画を伺う。		村長	
		3. フルマラソンコースの利活用について			
3-1		来年度はどのような活用を考えているのか。 また、将来の考えを伺う。		教育長	

平成22年第7回飯館村議会定例会一般質問通告書

平成22年11月30日・午前9時20分・受付 No.2-1

議席	通告者氏名	質問事項・内容	答弁者	答弁内容
7番	菅野義人			
		1. これからの公共施設の整備のありかたについて		
1-1	村では今後、社会資本整備総合交付金、電源地域振興・地域活性化事業などを利用して大谷地住宅、公民館、草野小学校の改修などのハード事業を計画している。これからの厳しい財政状況を考えると、意匠を凝らしたものより極力将来の運用・維持管理コストを抑えられる建築物を設計すべきと思われるが所見を伺う。	村長		
		2. より効果を上げる産業振興をめざして		
2-1	23年度で最終年度をむかえる「農地・水・環境保全向上対策事業」は、国の第三者委員会の評価で基礎活動、向上活動の適切な実施と耕作放棄地の解消、非農業者を含む多様な主体の参加等が見られることや、各道府県からの制度の継続・強化の要望も多いため、事業継続の可能性が高い。村として県や国に対し、今までの村協議会の活動や各保全会での要望をもとにして一層の効果を高めるための改善点を提言すべきと思うが所見を伺う。	村長		
2-2	来年度から向上活動支援、環境保全型農業直接支援が新規事業として設定されると聞いているが、当村の取り組みについて所見を伺う。	村長		
		3. 新学習指導要領の全面実施にむけての対策について		
3-1	中教審の学習指導要領の改善についての答申によると、現在の子供達の課題への対応という視点から「生きる力」を育むことが継続され、教育関係者や保護者等で自ら考え理解の上、理念を共有することが最も重視すべきことと伝えられる。今後の村教育委員会の役割と対応について伺う。	教育長		

平成22年第7回飯舘村議会定例会一般質問通告書

平成22年11月30日・午前9時20分・受付 No.2-2

議席	通告者氏名
7番	菅野義人

質問事項・内容		答弁者	答弁内容
3. 新学習指導要領の全面実施にむけての対策について			
3-2	今回の改正の特徴として、知識、技能の活用に結び付く思考力、判断力、表現力の育成があげられているが、現場ではどのような対応が求められているのか所見を伺う。	教育長	
3-3	学習意欲の向上や学習習慣の確立にあたっては、家庭学習を含め小学校低中学年の時期が重要とされている。特に家庭や保護者との連携についてどのように進めていくのか所見を伺う。	教育長	
4. ラオス交流事業について			
4-1	ふるさと納税を活用したラオスへの教育支援については村民からの理解はよく得られていない。目的にあるように、交流を通じて飯舘村の「までいな心」と、国際人としての豊かな人間性の育成のためにどのような取り組みをしているのか伺う。	教育長	

平成22年第7回飯館村議会定例会一般質問通告書

平成22年12月2日・午前8時35分・受付 No.3

議席	通告者氏名	質問事項・内容		答弁者	答 弁 内 容
2番	飯 樋 善 三 郎	1. 米作農家の支援対策について		村長	
1-1	<p>近年にない米価の下落と猛暑による品質の低下により、米作農家の所得が大幅に落ち込んでいる。他市町村でも、すでに色々な支援策を打ち出しているが、我が村ではその考えはあるのか。</p> <p>また基幹産業の農業全体も、戸別所得補償制度や環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）の問題で大きく揺れている。全体の抜本的な対策をどうしていく考えか併せて伺う。</p>				

平成22年第7回飯舘村議会定例会一般質問通告書

平成22年12月2日・午前8時36分・受付 No.4

議席	通告者氏名
4番	伊東 利

質問事項・内容		答弁者	答 弁 内 容
1. 農業振興対策について			
1-1	春以来の異常気象により、園芸品目の販売額の減少と米価の下落により農家経済は困窮を極めている。農家にとって生産資材代の支払に支障をきたす状況にあり、更に今後の生産意欲の低下にもつながるので支援対策と振興対策について伺う。	村長	
1-2	6次産業施策について 6次産業加工施設建設計画が示された。農産物の安定生産、雇用確保の面で大変期待されるが生産戦略について伺う。	村長	
2. 道路危険箇所解消対策について			
2-1	草野本町交差点の改善について 草野本町交差点が狭く信号機が歩道に出ているため、更に村道側が狭くて大変危険な状況にあるため改善が求められるので所見を伺う。	村長	

平成22年第7回飯館村議会定例会一般質問通告書

平成22年12月2日・午前10時52分・受付 No.5

議席	通告者氏名
12番	佐藤 長平

質問事項・内容		答弁者	答弁内容
1. 村総合計画の策定と実施計画の評価見直しについて			
1-1	<p>地方分権推進委員会勧告による「義務付け、枠付け緩和の一環」として、先の通常国会に提出、衆議院で継続となっている地方自治法改正案において、市町村の基本構想策定と議会議決の義務付け廃止が審議されている。</p> <p>①法改正されれば義務付けが廃止されても、村は総合計画を必要なものとして策定するのか、否かを伺う。</p> <p>②法改正によって、総合計画（基本構想）は法的根拠を失うので、村独自の条例を設けるのか、否かを伺う。</p> <p>③議会の議決を得た基本構想に基づき、基本計画と実施計画を策定してきたが、議会の議決を含めたこの手法を変えるのか、否かを伺う。</p>	村長	
1-2	<p>世の中の激変に対応して大胆な革新と柔軟な対応が求められる中、基本構想、基本計画、実施計画のPDCAサイクル（計画-実施-評価-見直し）は、従来の中間見直し5年と10年の評価策定では、規定での村長選の選挙公約及びマニフェストによる実施年度が合わず、政策争点の具体化とスピーディな政策実現ができないので、8年の総合計画とし、前期を「実施計画」に、ローリング見直しによる後期4年を「予測計画」とする策定方式に改革すべきと提案をしたいが、所見を伺う。</p>	村長	
1-3	<p>第5次総合振興計画の計画推進チェック機構設置のなかで、次の総合計画策定を前にした平成24年度に議員を交えた大きな見直し評価を計画しているが、議会と議員に求めるものは何か、所見を伺う。</p>	村長	

平成22年第7回飯館村議会定例会一般質問通告書

平成22年12月2日・午前11時30分・受付 No.6

議席	通告者氏名		
3番	北原 経	質問事項・内容	
質問事項・内容		答弁者	答弁内容
1. 遊休農地荒廃化対策について		村長	
1-1	飯館村耕作放棄地対策協議会を設立し、農地の現況調査をしていると思うが、増加の止まらない遊休農地対策に新たな予算が必要と思う。村の考えを伺う。		
2. 農業の振興について		村長	
2-1	J A飯館総合支店に設置した製氷機を利用し、新たな農産物の出荷について村の考えを伺う。		
3. TPP交渉について		村長	
2-2	国として環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への参加について、村の考えを伺う。		

平成22年第7回飯館村議会定例会一般質問通告書

平成22年12月2日・午前11時45分・受付 No.7-1

議席	通告者氏名
10番	佐藤 八郎

質問事項・内容		答弁者	答弁内容
1. 仕事おこしについて（中小業者、農家、障がい者支援）			
1-1	官公需を仕事づくりに結びつけるべきである。	村長	
1-2	小規模工事登録制度の実態とひろげる施策を求める。	村長	
1-3	住宅リフォーム助成制度を実施することで、地元業者への仕事づくりと雇用を増やすべきである。	村長	
1-4	厳寒期における野菜、花生産が可能となり、所得向上に結び付けられる施策を増やすべきである。	村長	
1-5	障がい者作業支援、障がい児支援事業に取組みし、障がい者をかかえる家庭支援を進めるべきである。	村長	
2. 安心な生活について			
2-1	高齢者への対応実態と施策を示し、今後どのように高齢者を支援する中で安心な生活としていくのか。	村長	
2-2	医療費負担減にむけての施策を示せ。	村長	

平成22年第7回飯舘村議会定例会一般質問通告書

平成22年12月2日・午前11時45分・受付 No.7-2

議席	通告者氏名
10番	佐藤 八郎

質問事項・内容		答弁者	答 弁 内 容
2. 安心な生活について			
2-3	国保税に関わる滞納者への保険証未発行問題、そして税滞納者への基本的 人権無視の執行実態はあるのか。弱い立場の住民への税徴収対応を具体的に 示せ。	村長	
2-4	村独自の福祉向上施策の成果と課題を示す中で、住み良い、住みたくなる 福祉施策を求める。	村長	
3. スポーツと健康づくりについて			
3-1	マラソン認定コースの基本的活用方針並びに村民全体での利用方法を具体 化してほしい。	教育長	
3-2	スポーツで地域づくりするための各団体との連携をして進めるのか具体的 に示せ。	教育長	
3-3	村外にむけての事業計画をどう進めるのか示せ。	教育長	
3-4	健康、体力増進のためになる事業と組み立てをどのようにしていくのか。	教育長	